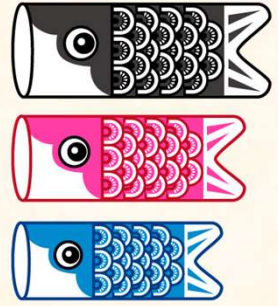


萌丘東幼稚園
萌丘東保育園 ほいくだより

2022



ひがしっ子 5月



園長コラム

先日の保護者会総会。急きょの変更にもかかわらず多くの皆様にご参加いただきましてありがとうございました。今後もこども達の為にご協力をお願い致します。

さて、東園では裸足保育が始まりました。元気いっぱい芝生の上を走り回っているこども達の姿を見ると嬉しくなります。大地の刺激を沢山感じて逞しく育てて欲しいです。

ところで、最近は裸足に近い感覚のシューズが注目を集めているようです。ソールがとても薄いシューズと言うと分かりやすいかもしれません。実際に履いて歩くと姿勢が改善されたり、普段使わない筋肉で疲れやすかったりと様々な違いがあるようです。靴を履いてしまうことで失われてしまう刺激が沢山あることがよくわかりますね。医学的知見においても裸足の有用性は証明されていますので、裸足の刺激を生活に取り入れたいけど、裸足に出来ない現代らしい商品ですね。周りにも利用する人が増えてきています。

いよいよ1学期も後半戦に入ってきます。あっという間ですね。行事が増える2学期と違い、1学期は緩やかに日常を楽しみ、東園で生活する人同士が信頼関係を構築していくことを大切にしています。そして、それはこどもと先生だけでなく、保護者も一緒です。保護者にも東園に親しんで、楽しく通っていただきたいと思っています。

0～2歳児クラスの1か月

はじめまして

ひよこ組は新入園児が10名。賑やかな日々です。少し前までみんなお母さんのおなかの中にいたのかと思うと不思議な気持ちになります。こどもだけでなく、親も子育て1年目と言う方もたくさんいらっしゃいます。相談と言うと敷居が高く感じますが、保育者と何気ない会話をしているだけで、子育ての励みになるものです。



みてみて

0～1歳児は散歩と言った様子で、2歳児は探検と言った様子で戸外遊びを楽しんでいました。この年齢のこどもにとって、自分らしく楽しく遊ぶのに大切なことは安全基地があることです。無意識に保育者のいる場所を確認して、安心感を感じられる距離感で遊んでいることが、見てみるとよくわかります。その距離感を広げていくことが子育てであるとも言えるかもしれませんね。



3～5歳児クラスの1か月

里山体験

ゴールデンウィーク前後はたけのこ収穫のシーズンです。両手で地面を掘って、一生懸命に引っ張っていました。収穫した後は、厨房にもっていってお昼ごはんに出してもらう。楽しくないわけありません。保護者はなかなか行くことはないのですが、園の裏手の裏山に竹林があり、田舎の里山といった雰囲気の中で食育体験をしています。



楽しむためにも

寒暖差がある日和でした。暖かい日には靴を脱ぎ、裸足になって遊んでいます。砂場や芝生の刺激は特に楽しいようです。そんな楽しい時間も、食事や排せつ、着替えなどの生活自立が備わっていないと、思いのほか時間が取れません。本当にもったいないです。ご家庭でも取り組んでいきましょう。



真剣に遊んでいます

どうして、東園では手作りのものをたくさん作るのでしょうか。答えは簡単。楽しいからです。身近な物を使うのは思い入れを高めるための工夫です。そんな手作りおもちゃで遊んでいる中で、幼児期の成長に必要な大部分が育ちます。残りの部分は近い年齢のこども達がいる中で育ちます。集団生活の中で作って遊ぶのが東園の保育とも言えますね。作れないと楽しめないのも、生活自立が重要にもなるのです。

